足 立 区

平成３０年度　当初予算案発表

協創力×エリアデザイン

つかむ、
成長の実感。

平成３０年１月３１日（水）　午後２時～
足立区役所 中央館８階　特別会議室

《　次　第　》

１　平成３０年度 予算編成方針

２　エリアデザインでまちの魅力を高めていきます！
　　－ 江北エリア、北綾瀬ゾーンで計画策定 －　・・・・・・・１

３　「洪水ハザードマップ」を改定します！
　　－ いざという時に備えて －・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

４　「インターネット・ゲートキーパー」の導入　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

５　上り緩行線が仮設ホームに移ります！
　　－ 竹ノ塚駅付近の鉄道高架化 －　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

６　その他

【担当】広報室　報道広報課　　０３（３８８０）５８１６

本資料中、事業予算額の後に記載されている「Ｐ○○」の標記は、
別添「平成３０年度予算編成のあらまし」における掲載ページです。

エリアデザインでまちの魅力を高めていきます！
－江北エリア、北綾瀬ゾーンで計画策定－

エリアデザイン計画策定委託　　１５，６９３千円（Ｐ２２）

Area Design
Promotion Headquarters
まち×デザイン＝未来

１　足立区が目指すエリアデザインとは

（１）まちの魅力や目指すべき将来像を情報発信することで、区のイメージを向上させます。

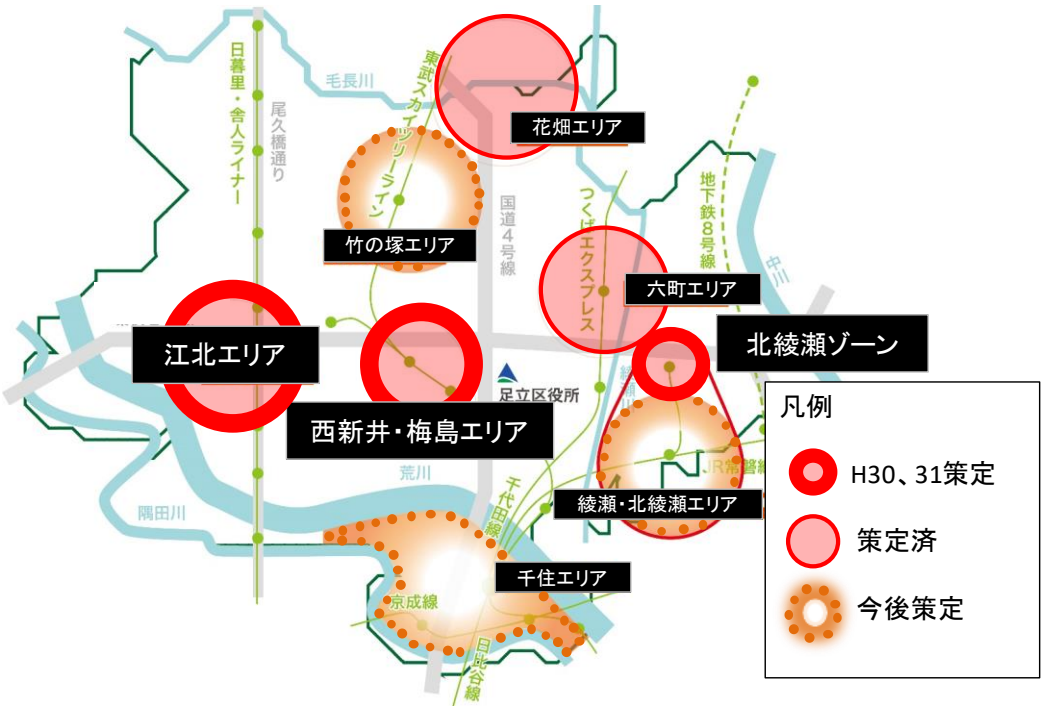
（２）大規模な区有地等を活用し、民間活力によるまちの整備を進め、地域の活性化を図ります。

（３）これまで、花畑エリアでは、文教大学、江北エリアでは、東京女子医科大学東医療センターの誘致を進めています。

まちの将来像を実現するスパイラルアップの例

２　エリアデザイン計画の策定状況

平成３０年度は、「江北エリア」、「北綾瀬ゾーン」でエリアデザイン計画を策定します。



３　計画策定の工程（予定）

まちの現状を数値化してデータ分析するなど、コンサルティング委託を実施します。

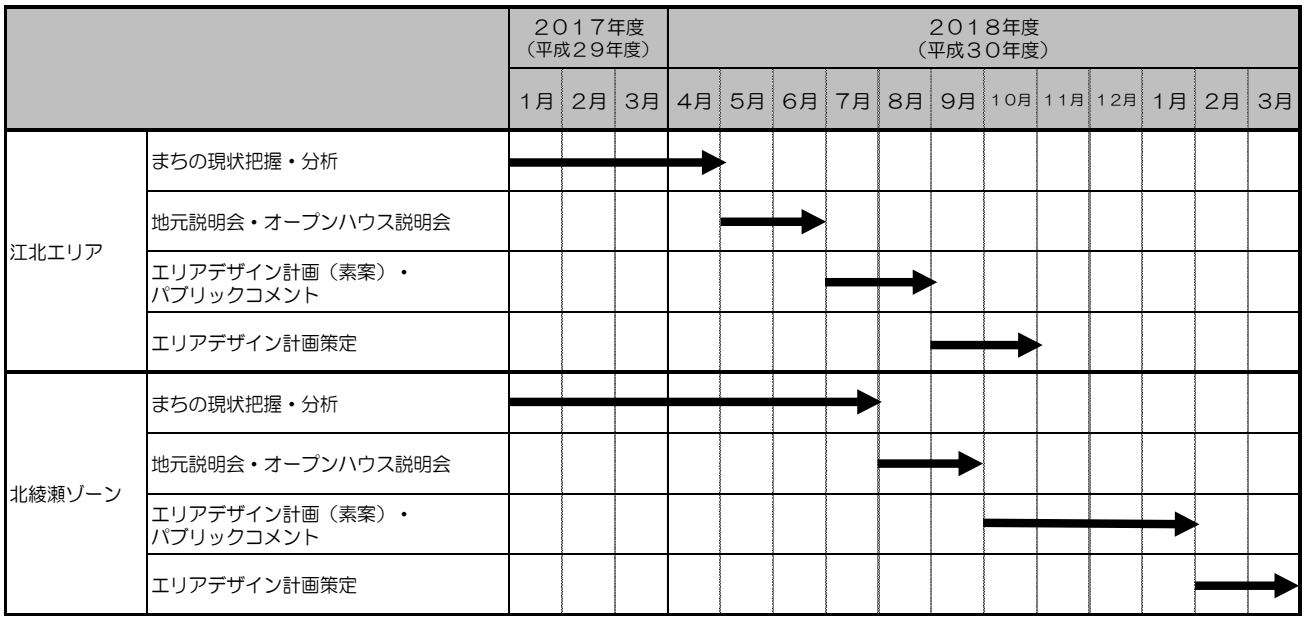
（１）江北エリア及び北綾瀬ゾーン（平成３０年度に計画策定）

江北エリア 2021 年度 大学病院進出

区内初の大学病院を核としたまちづくりや、学校跡地など大規模敷地を活用した新たなまちの魅力づくりなど、様々な可能性について検討していきます。　【別紙１】

北綾瀬ゾーン 2019 年度 千代田線直通運転

北綾瀬駅改良工事が進行する中、短期的な交通環境整備を着実に進めつつ、中・長期的な視点で綾瀬ゾーンとの整合を図り、まちの将来像を描いていきます。　【別紙２】



（２）西新井・梅島エリア（平成３０年度から計画策定業務に着手）

西新井・梅島エリア 公共施設の再編を検討

西新井・梅島駅周辺の交通環境改善に向けた検討や公有地等の活用による周辺施設の更新、都市基盤施設の見直しなどの課題を検討していきます。

【問合せ先】エリアデザイン全般に関すること
政策経営部 経営戦略推進担当課長　茂木 聡直　　電話（３８８０）５８１２

大学病院に関すること
政策経営部 経営戦略推進担当課長　田ケ谷 正　　電話（３８８０）５８１１

江北のまちづくりの状況　【別紙１】

大学病院用地取得

７，０００，０００千円

スケジュール（予定）

２０１８年３月
　用地取得（仮契約）
２０１８年７月
　用地取得（本契約）
２０２１年度
　病院開設予定

病院配置図
検討中のため変更の可能性あり

まちづくりコンサルティング業務

１２，０００千円

主な内容

・交通量調査　・周辺道路の課題整理
・江北駅から大学病院までの安全な歩行経路の検討・まちづくり連絡会の運営

江北平成公園造成【東京都施工】

江北五色桜のある子どもから大人まで楽しめる公園。２０１８年春完成予定

上沼田東公園基本計画・基本設計

１５，０１０千円

スケジュール（予定）

２０１８年度 基本計画、設計
２０１９年度 実施設計
２０２０～２１年度
　拡張整備工事

北綾瀬駅周辺のまちづくりの状況　【別紙２】

しょうぶ沼公園改修工事

４８，０００千円

主な内容

- 駅へのアクセス付帯工事
- 駅エレベーター周辺工事
- 公園出入り口のバリアフリー化
- 誰でもトイレ設置

道路拡幅改良工事

４０，５００千円

主な内容

- 道路拡幅（公園北）
- タクシー乗降場所、一般車乗降場所（公園東）

バス路線変更に伴う測量及び詳細設計

７，７２７千円

北綾瀬駅周辺のバス路線変更にあたり測量、設計を実施

まちづくり勉強会運営

３，６００千円

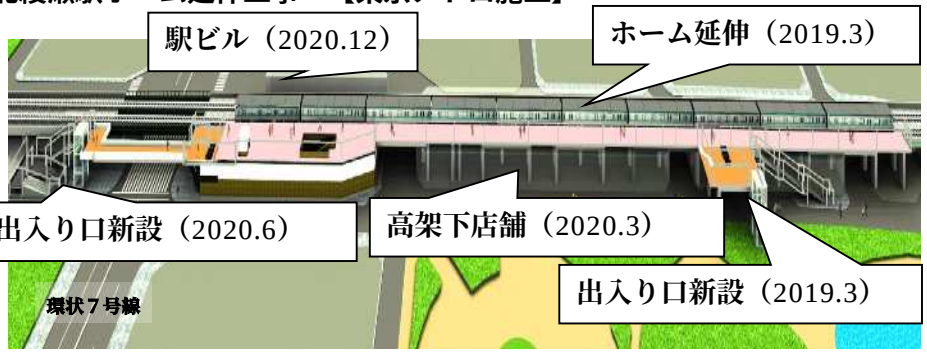
２０１７年度から地域住民と行っている勉強会の継続実施

交通広場検討

６，３６１千円

北綾瀬駅前の交通広場の整備に向けた検討コンサルティング委託業務

北綾瀬駅ホーム延伸工事　【東京メトロ施工】



「洪水ハザードマップ」を改定します！
― いざという時に備えて ―

洪水ハザードマップの改定・印刷・配付　　５９，８１４千円（Ｐ７１）

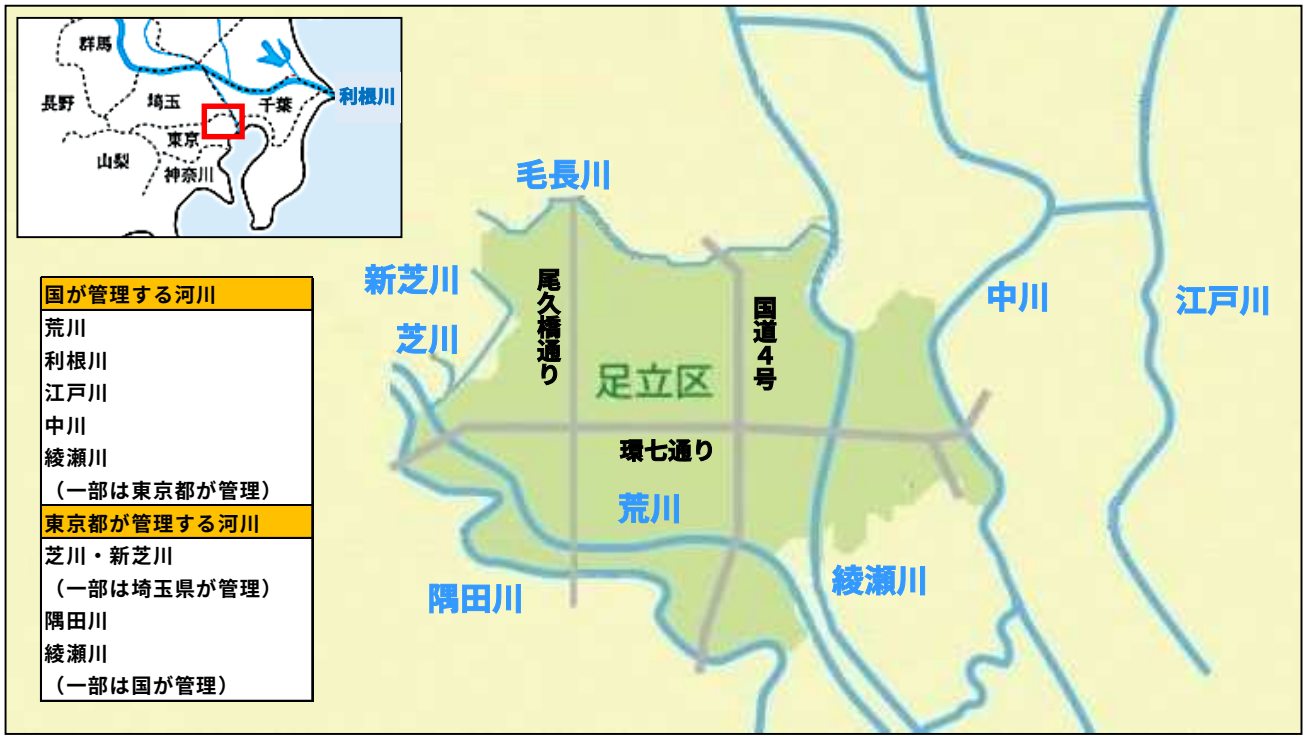
１　改定の背景

- 平成２７年５月の**水防法改正**に伴い、河川管理者（国や東京都など）によって、新たな浸水想定区域図が公表されることになりました。
- これを受け、国が管理する荒川、利根川、江戸川、中川、綾瀬川の５つの河川について、国から**新たな浸水想定区域図**が公表されました（荒川：H28.5 公表、荒川以外：H29.7 公表）。

⇒　現在、足立区では、新たな想定に基づく避難情報を盛り込み「洪水ハザードマップ」の改定作業を進めています。

ハザードマップ：被災想定区域や避難場所・避難経路、防災関係施設の位置などを表示した地図のこと

＜足立区周辺の河川＞



２　改定の３つの主なポイント

（１）　**浸水想定区域**の見直し

（２）　新たに**「浸水継続時間」**の情報を追加

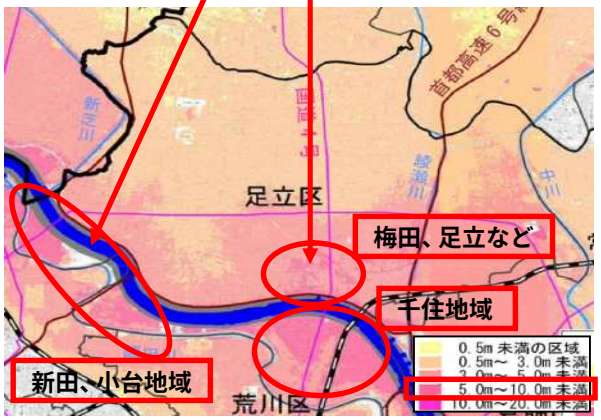
（３）　新たに**「家屋倒壊等氾濫想定区域」**の情報を追加

（1）浸水想定区域の見直し

現行の「河川整備において基本となる降雨を前提とした区域」から「**想定し得る最大規模**の降雨を前提とした区域」に拡充されました。

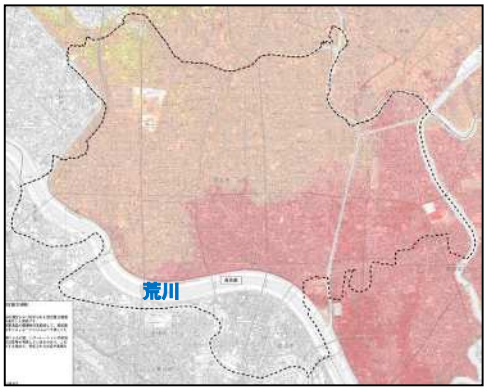
①荒川が氾濫した場合

公表時期	平成１７年７月	平成２８年５月
想定する降雨量 （３日間の総雨量）	**河川整備において基本となる**降雨量 ５４８ミリ （**２００年に１度**）	**想定し得る最大規模**の降雨量 ６３２ミリ （**１０００年に１度**）
５メートル以上の浸水が想定される地域	千住側（荒川右岸）	・梅田、足立といった**荒川の北側(左岸)**へも拡大 ・右岸についても**新田、小台地域**まで拡大



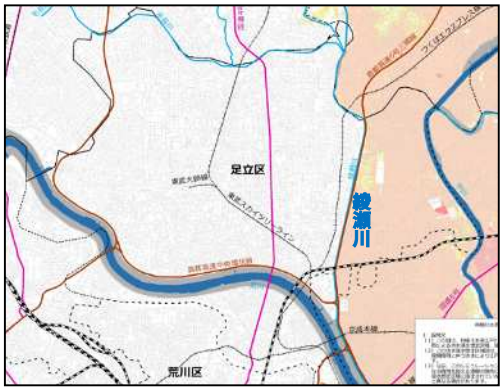
②利根川が氾濫した場合

⇒荒川以北に被害が想定されます



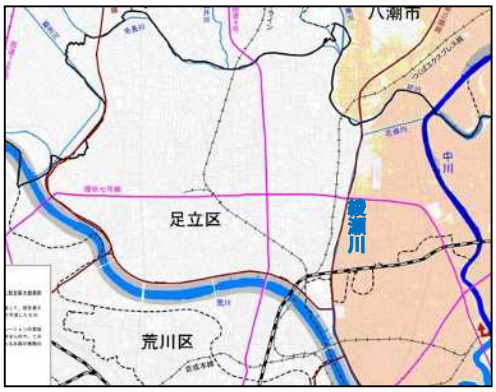
③江戸川が氾濫した場合

⇒綾瀬川以東に被害が想定されます



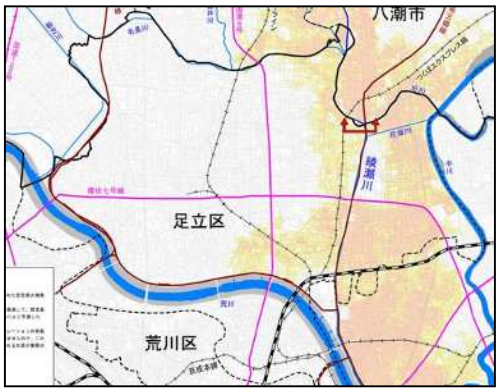
④中川が氾濫した場合

⇒綾瀬川以東に被害が想定されます



⑤綾瀬川が氾濫した場合

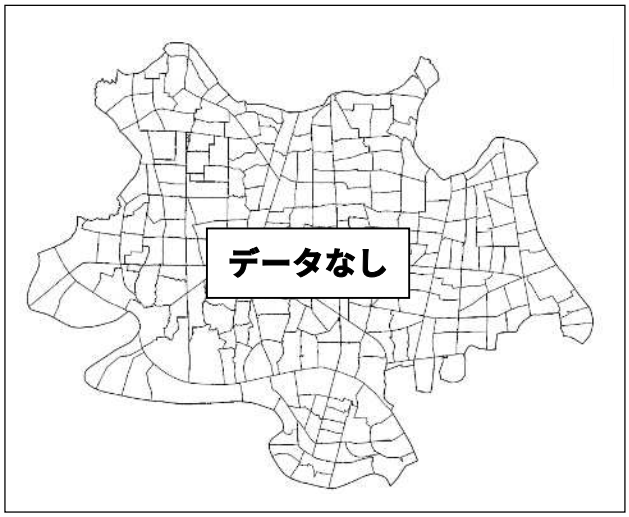
⇒特に綾瀬川の東側で被害が大きくなるおそれがあります

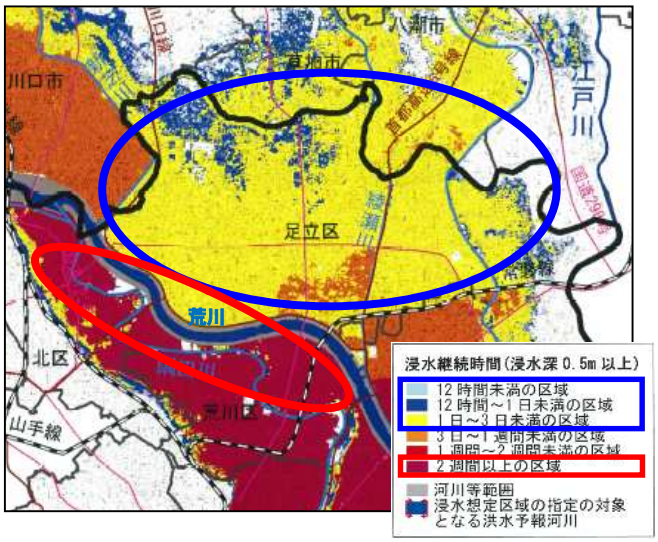


（２）新たに「浸水継続時間」の情報を追加

任意の地点において、氾濫水到達後、屋外への避難が困難となり孤立する可能性のある浸水深 0.5mに達してから、その水深を下回るまでにかかる時間を示すものです。

①荒川が氾濫した場合

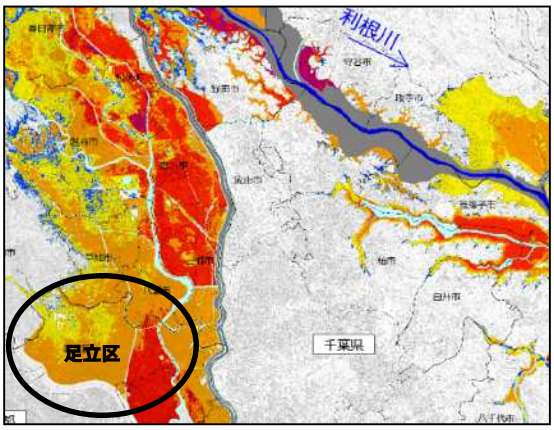




荒川以北では、浸水継続時間が３日未満の区域が多くなっていますが、**荒川以南では、２週間以上水が引かない**ことが想定されます。

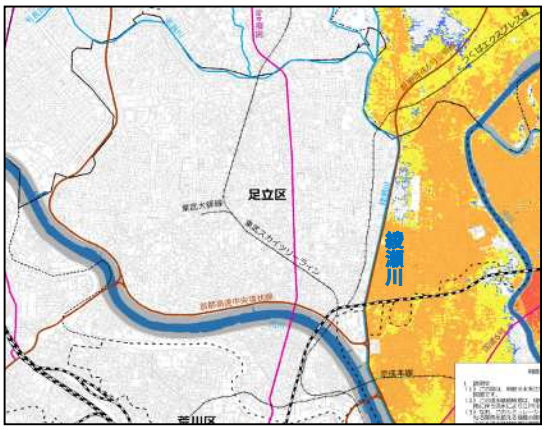
②利根川が氾濫した場合

⇒特に綾瀬川以東で浸水が長期化するおそれがあります



③江戸川が氾濫した場合

⇒綾瀬川以東に被害が想定されます

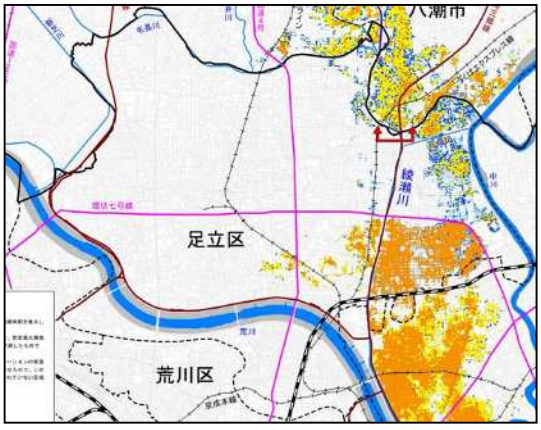


④中川が氾濫した場合

⇒綾瀬川以東に被害が想定されます

⑤綾瀬川が氾濫した場合

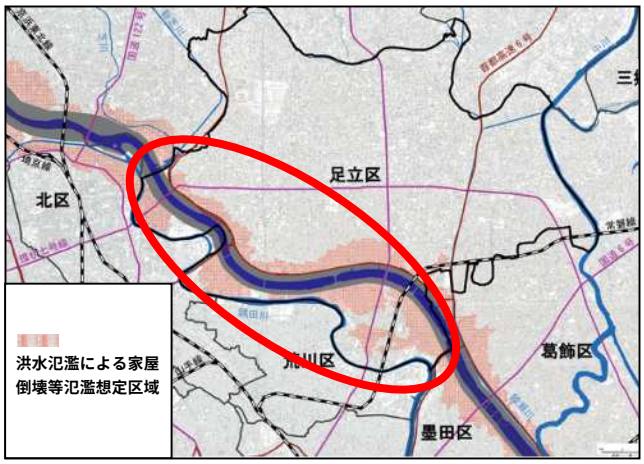
⇒特に綾瀬川の東側で被害が大きくなるおそれがあります



（３）新たに「家屋倒壊等氾濫想定区域」の情報を追加

一定の条件下で、家屋の倒壊・流出をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流の発生が想定される区域を予測したものです。

①荒川が氾濫した場合　　→荒川の両岸に渡って被害が想定されます



※荒川以外の４河川については、足立区に氾濫流による被害想定区域はありません。

３　改定のスケジュール（予定）

（１）国が管理する河川については、上記２の最新情報に加え、現在、荒川と江戸川が同時に氾濫した想定に基づいて、江東５区が合同で作成しているハザードマップ及び避難行動計画を反映して、平成３０年度内の完成を目指して取り組みます。

	２９年度	３０年度
・ハザードマップ改定委託（荒川）		
・ハザードマップ改定委託（利根川、江戸川、中川、綾瀬川）		
・大規模水害ハザードマップの作成（江東５区）		
・印刷、全戸配布		

（２）東京都が管理する河川（芝川・新芝川）及び内水氾濫（大雨により下水が溢れた場合の浸水）、高潮に関する浸水想定区域図については、今後、都が策定予定です。今のところ公表時期が未定なため、これらについては別冊として作成していきます。

【問合せ先】　都市建設部 企画調整課　犬童 尚　　電話（３８８０）５９０３

都内自治体で初

「インターネット・ゲートキーパー」の導入

インターネット・ゲートキーパー事業
【新規】４，４４８千円（Ｐ６６）

背　景

昨年発覚した神奈川県座間市の殺人事件を受けて、若年者に対するインターネット上での自殺対策が急務となっています。

＊「死にたい、自殺方法」等の自殺に関連する３３０語句の足立区内での検索数は、月間平均４，３５０回（平成２９年１２月現在）

概　要

いちはやく自殺のサインを捉え相談機関へつなげるため、「自殺の手段」や「死にたい」などの言葉をウェブ検索する１０～３０代を中心とした若年者に対し、検索連動広告を活用することで瞬時にメッセージを表示します。自殺方法などの情報取得を遠ざけ、ワンクリックでメール相談に誘導して現実の相談につなぎ、自殺を未然に防ぎます。

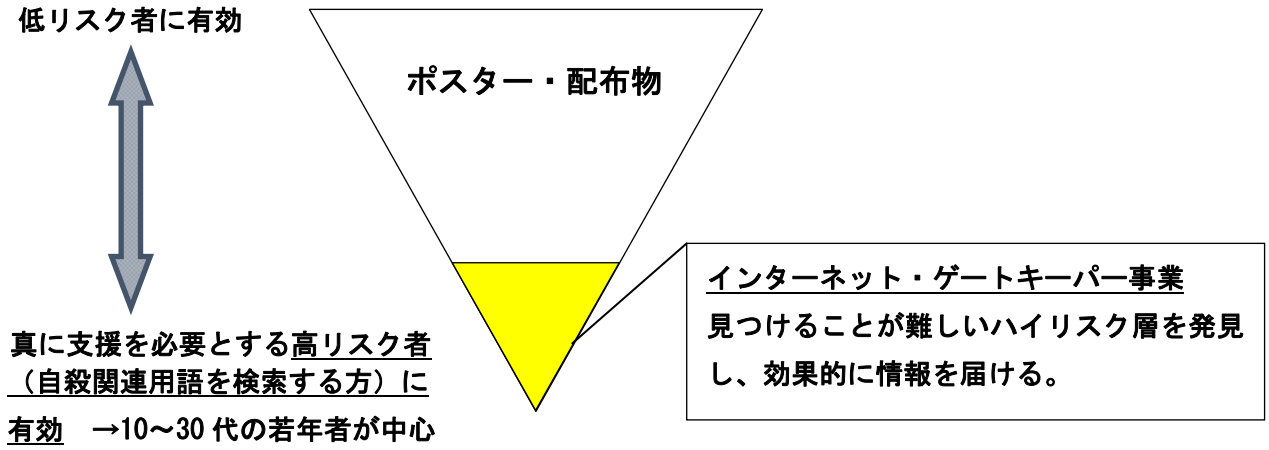
このインターネット・ゲートキーパーの委託事業を実施する自治体は都内初！

＊ゲートキーパーとは、自殺のサインに気づき、適切な相談機関へつなぐ「いのちの門番」です。

特　長

①Google の位置情報を活用し、足立区内からの相談者に対応可能。
②自殺に関連する３３０語句に対応してメッセージを表示します。
③ワンクリックで専門の相談員につなぎます。

1　ハイリスク層へ届くスキーム



2　事業イメージ

①自殺関連語句を検索した場合（スマホでの画面イメージ）

検索語句（自殺手段、リストカット、いじめ 死にたい など）に対応したメッセージを表示。

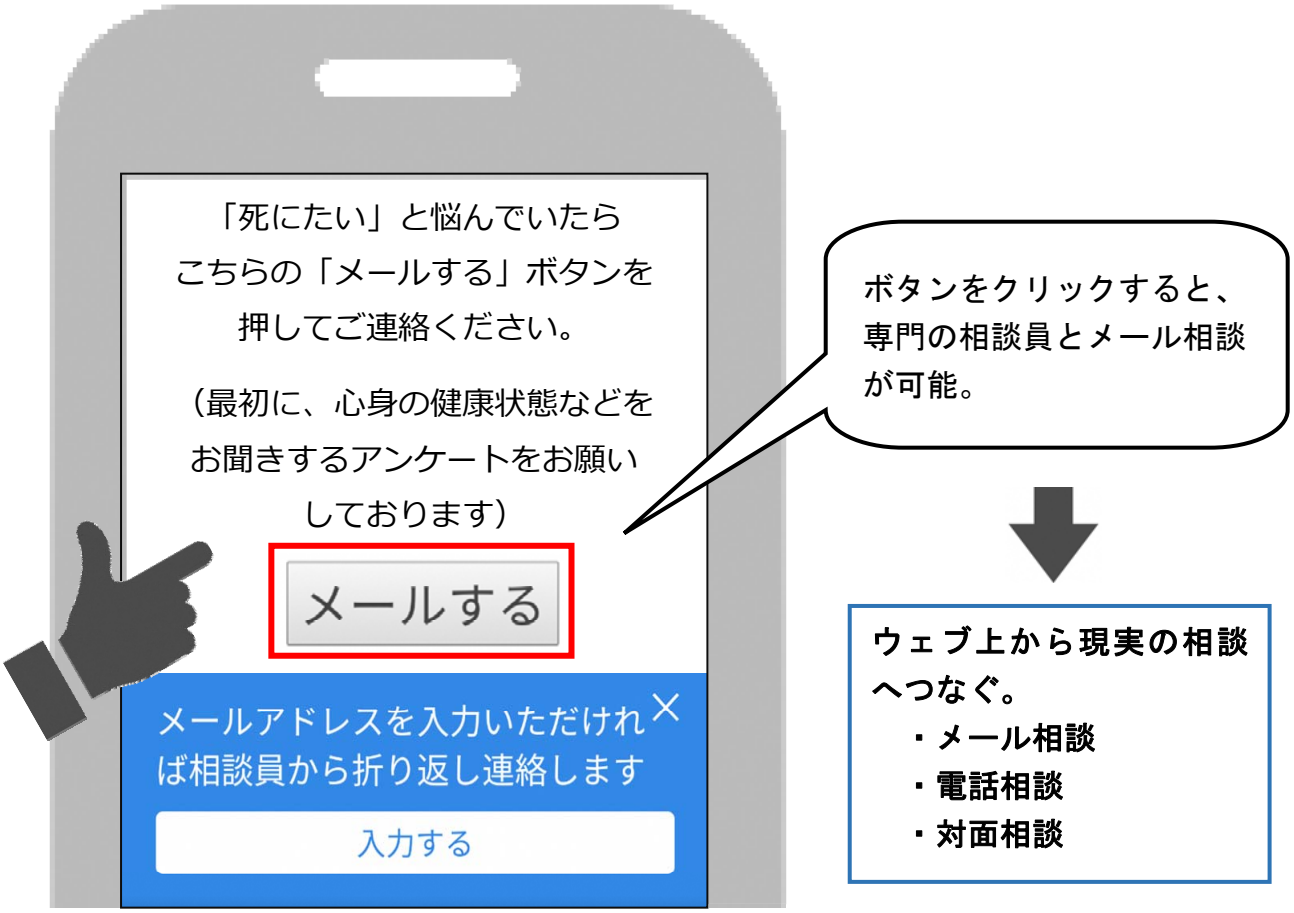
自殺を思いとどまらせ、メール相談を促す。

②相談ページ（トップ画面）のイメージ

表示されたメッセージをクリックすると、相談ページに直接移動。

画面を下にスクロールしていくと、相談受付画面に。

③相談ページ（受付画面）のイメージ



3　委託内容

専門的知見を有するＮＰＯ法人に、以下の業務を委託

① 足立区のハイリスク者の特徴に応じた広告掲載文の作成・掲載
② 区内で自殺関連用語（３３０語句）を検索したハイリスク者に対して、相談を促すメッセージを表示
③ 相談員がメール・電話で相談を受け付ける。必要時、対面相談を実施し、困難事例については相談者の同意を得た上で足立区につなぐ
④ 広告効果の測定及びその測定結果に合わせた検索語句やホームページの改変
⑤ 広告効果や相談者情報等の事業実績及び分析評価を月報・年報で報告

4　補助制度と財源

東京都地域自殺対策強化交付金〔補助率２／３〕（予定）を活用

【問い合わせ先】
衛生部こころとからだの健康づくり課長　馬場 優子　電話（３８８０）６４１３

上り緩行線が仮設ホームに移ります！
― 竹ノ塚駅付近の鉄道高架化 ―

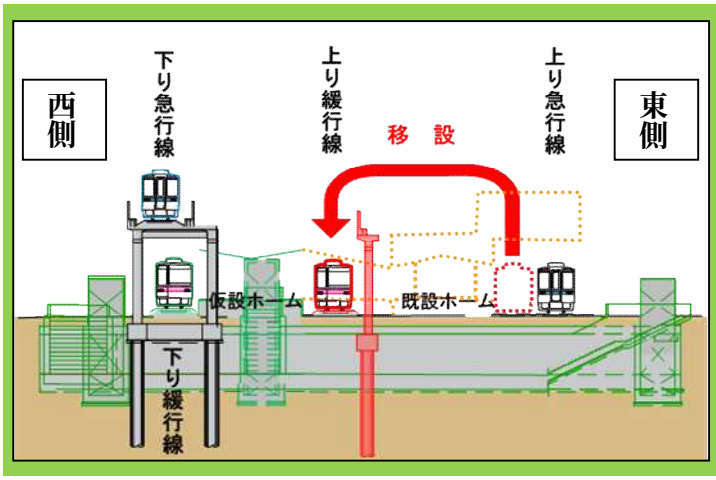
平成３０年秋頃

竹ノ塚駅付近の鉄道高架化　　３，９１５，０６９千円（Ｐ５７）

都内初の区施行による連続立体交差事業（竹ノ塚駅付近の鉄道高架化工事）は、完成に向け、鋭意工事を進めております。

今年度は、鉄道高架化に向け、高架橋工事の支障となる、上り緩行線を西側へ移設します。

移設により、上り緩行線に乗車するホームが、仮設ホームに移ります。



１　平成３０年度予算の主な事業概要

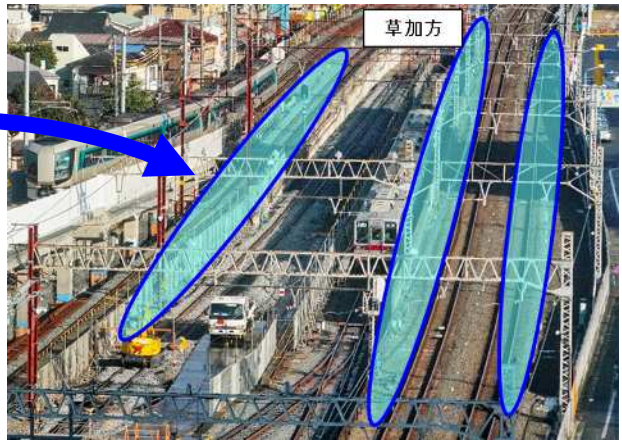
鉄道関連事業 3,114,000千円	高架橋工事、仮線工事など →上り緩行線を移設後、上り急行線の移設準備を進めていきます。
まちづくり関連事業 37,900千円	区画街路第１４号線測量及び道路・電線共同溝実施設計委託など →区画街路第１４号線整備に向け、実施設計に着手いたします。
用地購入・補償 763,169千円	区画街路第１４号線(竹ノ塚駅西口周辺) →残り約２割の用地取得に向け、引き続き交渉を進めていきます。

２　工事スケジュールの変更

（１）変更の原因

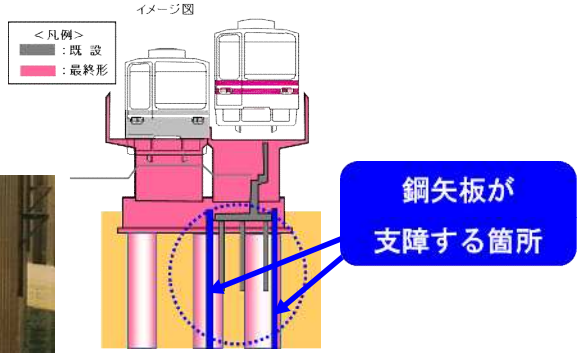
草加方の高架橋を建設した際に使用した鋼矢板が、線路内に埋設していることを確認したため、この鋼矢板の撤去が必要となります。

＜ 鋼矢板の概要 ＞



＜埋設量＞
- 枚数　　約２０００枚
- 延長　　延べ約８００ｍ

撤去できる量は、１日５枚程度で、作業時間や場所により異なります。



（２）今後の工事スケジュール

鋼矢板の撤去を行うため、スケジュールが変更になります。

- 上り急行線高架化は、2019（平成 31）年３月から 2020 年９月へ（18 ヶ月遅れ）
- 全線高架化（営業線）及び踏切解消は、2021 年３月から 2022 年３月へ（12 ヶ月遅れ）

年度	2018（平成30）	2019（平成31）	2020	2021	2022以降
当初	2019. 3 ● 上り急行線高架化		2021. 3 ● 全線高架化（営業線）踏切解消		2022年４月以降の工程（精査中） ・仮設ホームの撤去工事 ・沿線道路の復旧工事 ・高架下施設の工事 ・西口駅前広場の工事　等を行います
今後の予定		＋18ヶ月 →	【6ヶ月短縮】 → 2020. 9 ● 上り急行線高架化	＋12ヶ月 →	2022. 3 ● 全線高架化（営業線）踏切解消

【６ヶ月短縮するための主な取り組み】
- 日曜の昼間も作業を実施
- 区と東武鉄道で協議し、踏切解消までの工事手順を変更

【問合せ先】
（鉄道高架化に関すること）
鉄道立体推進室 鉄道関連事業担当課長　櫻井 健　電話（３８８０）５４８４
（まちづくりに関すること）
鉄道立体推進室 竹の塚整備推進課長　室橋 延昭　電話（３８８０）５２５０